



たごない歩け歩け大会

6/29



東成瀬村

議会だより

higashinaraide

令和7年7月22日発行

No.222



議会プロはごちら

6月定例議会 2

一般質問 7

議会の動き 12

不祥事の更なる解明に向け、全力！

6月定例会議は、6月6日から6月20日までの15日間の審議期間で開催された。

村長の行政報告で、職員の不祥事に関して報告があり、被害想定額は約2千万円に及ぶと説明があった。

報告7件、条例案3件、予算案2件、契約案1件の計13件を審議。陳情1件を不採択、4件を採択として、議員発議の決議2件、意見書4件、議員派遣1件を含むすべての議案を、全会一致で可決した。

2日目は開会に先立ち、産業建設常任委員会から、高橋健委員の委員長辞任願を許可したこと、正副委員長の互選の結果、委員長には佐藤一人委員、副委員長には高橋登志明委員が選任されたことが報告された。

これにより、産業建設常任委員会から推薦されていた議会運営委員会委員について、高橋健委員に代わり佐藤一人委員が新しく選任された。

2日目には一般質問が行われ、4議員が登壇し村政を質した。

最終日には、村長、副村長の減給処分について追加提案があった。

また、不祥事に関する調査特別委員会設置と特別職の政治責任の継続履行の議会決議が可決され、調査特別委員会の委員長に佐々木悦男委員、副委員長に鈴木実委員を選任したことが報告された。

専決処分

○村税条例の一部を改正する条例

・国の法律改正に基づき、改正するもの。
主に、特定親族特別控除創設に伴うものや、軽自動車税種別割の標準税率の区分見直しや、道路交通法改正に伴うマイナ免許証の運用開始に伴う申請時の提示等に係る改正。

○国保税条例の一部を改正する条例

・国の法律改正に基づき、改正するもの。
基礎賦課課税限度額を65万円から66万円に改めるもの。また、後期高齢者支援金等課税限度額を24万円から26万円に改める。また、減税措置に係る軽減判定所得の基準額を改正。

○損害賠償の額の決定及び和解

・公用車（除雪車）の車両への衝突事故に係る損害賠償を相手方に支払い、和解が成立した件について、議会に報告したもの。

契約

○マイクロバス2台購入

・契約の方法 条件付き一般競争入札
・契約の金額 25,190,000円
・契約の相手方 太平興業株式会社横手支店

・納期限 令和8年3月9日



企画課参事

条例

○特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

・職員の不祥事に対する管理責任として減給するもの。

・村長 10分の3を3ヶ月
・副村長 10分の2を3ヶ月

○長期継続契約を締結することができる契約に関する条例

・事務負担の軽減や事務執行の適正化を図るため、改正するもの。
・単年度契約を繰り返していた事務用機器等の借入れに対し、長期契約することができることとなる。

○布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正

・水道整備・管理業務に携わる職員数の減少に伴い、専門の管理者などの確保が困難となっていることから、資格要件の見直しが行われるもの。

厳しく
チェック！

議案審議

6月定例会議最終日20日に追加で上程された補正予算に対する主な質疑の内容を要約してお知らせします。

特定親族特別控除とは

質問 どういうものか。

答弁 居住者と生計を同一にしている19歳以上23歳未満の親族のことで、その合計所得が123万円以下の方が受けられる控除。

長期継続契約することが出来る契約

質問 事務用機器のリース契約が主な対象とのことだが、栗駒山荘の発電機や、診療所のレントゲン設備なども対象か。

答弁 電算機器類の他にも、そういった発電機などのリース契約についても対象となるよう規則で明記していきたいと考えている。

マイクロバス購入に関する契約

質問 納期限が3月9日となっているが。

答弁 納期については、昨年の他団体での例をみると約8ヶ月程度要している。それに若干の余裕をみて設定した。

物価高騰対応重点支援事業

質問 物価高騰の影響を受けた村内事業者に対する支援金とのことだが、国の交付金に対し、村の一般財源の補助率などの縛りはあるのか。

答弁 あくまで定額補助なので補助率等の要件はない。対象者を積算して村の一般財源を追加することを見込んでいる。

質問 補助対象の認定農業者、認定新規就農者は何人か。

答弁 積算している認定農業者は28名。認定新規就農者は3名となる。

質問 認定農業者と個人事業主と兼業しているケースはどのようになるのか。

答弁 当支援金は事業活動に対する物価高騰の影響緩和を図るために支援するものであり、それぞれの事業について事業活動が行われていることが確認できれば、それぞれに支援金を交付する。

不祥事に係る議会の対応は：

特別職処分案への指摘

当初提示された特別職の処分案に対し、議会 はさらに管理責任の重さを指摘し、その後村当局が処分割合の引き上げ案を再提示し可決に至りました。

調査特別委員会の設置

議会最終日に、「東成瀬村職員による公有物 窃取事件調査特別委員会」の設置についての決議が可決されました。

委員は議長を除く全議員9名で、互選の結果、委員長に佐々木悦男議員、副委員長に鈴木実議員が選任されました。

この調査特別委員会は、2月に役場内に設置された調査委員会とは異なり、今回の不祥事に対し議会からの視点でその原因究明と再発防止への総合的調査を行うものです。

調査終了まで閉会中も活動を続け、村政の信頼回復に向けて全力を傾けていきます。

政治責任の継続的履行を求める決議

議会最終日に、「職員による不祥事（公有物窃取）に係る政治責任の継続的履行を求める決議」が村議会から提案され、可決となりました。

約1980万円の賠償の見込みと、その履行プロセスは不確定な状況です。

議会は「賠償計画の明確化」と「賠償履行不可能な場合の特別職報酬の追加減額」を求め、政治責任を厳正に問う決議を行いました。

（※決議文は下段に記載）

「議会だより・臨時号」を発行！

6月定例会議中に大きな動向があった不祥事について、これまでの経過や議会の対応をいち早くお伝えするため、「議会だより・臨時号」発行に至りました。

6月20日の閉会後に直ちに印刷を行い、議員による配布準備作業を経て同日の村広報紙配布と同時に皆さんへお届けいたしました。



調査特別委員会第1回会議を開催



6月27日に第1回の調査特別委員会を開催し、委員会としての方向性や具体的な調査へ向け、対応について協議を行いました。今後、これまで報告されている事実関係を踏まえ、議会としての調査を実施していきます。

今回の村職員による不祥事について、議会では次のような対応を行いました。

職員による不祥事（公有物窃取）に係る政治責任の継続的履行を求める決議

本村職員による公有物窃取（被害額約1,980万円）は、財政規模比として、全国町村の類似事案と比較しても重い水準にある。組織としての統治体制が機能しなかった責任は極めて重大であり、さらに現在も警察捜査と職員による調査委員会の調査が継続中で、全容解明及び損害賠償の履行は不確定である。

議会は、被害額・期間・隠匿性の高さ、財政規模と損害賠償の重要性を重く受け止め、政治責任の継続的履行を求めるため、次のとおり決議する。

1. 賠償計画が策定され提案可能な段階で、賠償計画及び進捗を議会へ報告すること。

2. 賠償の履行を総合的に判断し、履行不可能な場合は特別職報酬の追加減額措置を提示すること。

賠償計画の継続的履行が見込めると認められる場合は追加減額措置を要しない。

※本決議は、令和7年6月定例会議で決定した減額処分を受けた特別職が対象となる。政治上の責任を定めるものであり、特別職個人への損害賠償責任を直接求めるものではない。

議改革 会

議会改革とは...

議会の機能を向上させ、村民の意見をより反映し、より透明性のある議会運営を行うための改革です！

こんなふうに変ったんだね！



○一般質問（分割質問方式）

これまで7回にわたって協議を続けてきた「議会改革特別委員会」。

最初に着手した案件が「一般質問実施方法の変更」でした。

これまでは、冒頭で全ての質問項目の1回目の質問と答弁を一括で行う形式でしたが、答弁内容の捉えにくさなどが指摘されていました。



この6月議会から、質問項目ごとに区切って質問と答弁を完結させる「分割質問方式」を採用することとなり、質問者、傍聴者ともに分かりやすい一般質問になったとの声をいただいています。

1回目の質問を終えた後も、今までのように自席に戻らず、質問席に新たに設置された椅子で答弁を聞き、そのまま質問席で再質問に入るシステムも導入。「質問者と答弁者」の対峙の構図が明確となりました。

一般質問の時間の目安となるデジタルタイマーも壁面に設置しました。



議会改革特別委員会の報告

1. 一般質問の実施要領について、これまでの方式を変更し「分割質問方式」の導入を可とした。「分割質問方式」は通告書質問項目ごとに質問答弁を完結する方式で、議論する側、傍聴者共に分かりやすく、理解しやすい議会運営、議論の活性化、議会機能の強化など、総合的に検討・判断し結論に至った。「分割質問方式」については、村当局との協議、議会内の制度整備を経て、今回の6月定例会議より導入となる。
2. デジタル化手法の一環として「タブレット端末」の導入を可とした。議会におけるデジタル化の推進は、ペーパーレス化や業務の効率化を通じて、より機能的で柔軟な議会運営を実現する重要な取り組みとなっている。資料などの電子化は、「議会活動の効率化・強化」、「緊急時・不測の事態対応」、「経費削減」、「事務作業負担軽減」など多方面で、その有効性が実証されている事を踏まえ結論に至った。

また、全国的に進む町村議会議員のなり手不足は、議会・自治体の重要課題であり、今後も住民の付託に応え、議会活動の充実を図ると共に、より分かりやすい議会運営を目指し、議会改革特別委員会にて改革の協議を継続する予定である。以上。

突撃いんたびゅう

6月議会で一般質問を行った議員に聞いてみました！

Q「分割質問方式」を導入してみた感想は？



通告1番

伊勢谷 勝美 議員

質問者の立場から言えば、相手側にこちらの意図が非常に伝わりやすいと感じた。

通告2番

佐藤 仁 議員

複数の質問でも、答弁内容が捉えやすく議論を深めることができたと感じた。

通告3番

高橋 登志明 議員

分割で答弁の聞き逃しが無く、メモも取り易くて良かった。

通告4番

杉山 彰 議員

答弁を鮮明に憶えていて、議論に集中できた。

村の話題!

ちょっといい

買ってみました!

生ごみ処理機!

EM菌を活用した生ごみ堆肥化推進事業の終了に伴い、今年度から生ごみ減量・堆肥化機器を購入した方々に購入費の一部を助成する事業が始まりました。

助成額は生ごみ処理機の購入費の半額で上限4万円（これまで生ごみ回収に協力してきた家庭は購入費の全額で上限8万円）。コンポスト容器は購入費の半額で上限5千円（協力家庭は全額で上限1万円）。

今回、生ごみ処理機を購入してこの助成事業の認可第1号となった鈴木忠美さん、重子さんご夫婦（椿台）にインタビューしました。

いつもこの部屋（畳の居間）に置いてあるんですか？

「いや、台所だったり、あっちの部屋に持って行ったり。コンセントがある所なら。」

処理機の中の羽根が回転しながら乾燥するタイプですね。使い心地は？

「フタをしてこのスイッチを押すだけで生ごみがカラカラになる。簡単だよ。分厚いミカンの皮なんかは時間がかかるかな。」



カラカラにした後は？

「うちは畑に散らしてすき込んでしまふ。乾いてるからハエも来ないな。」

野菜にも良さそうですね。申請してみようと思ったのは？

「生ごみの回収がなくなって困ったなあと思ってたら、うちの娘がこれ（この助成事業を）知っていて、「やった方が良くないか」って。この処理機も娘が買ってきただ。この記事が載ればみんなも買っかな（笑）。」



鈴木 忠美さん・重子さん（椿台）

穏やかな笑顔が印象的なお二人。皆さんもこの機会に助成申請してみては？

地域おこし協力隊

集落支援員 着任!



6月18日、新しく着任された7名の内、6名の地域おこし協力隊員の紹介がありました。

皆さんは、東成瀬テックソリューションズ株式会社で活動されます。

今回着任の7名を合わせると、村の協力隊員は委嘱隊員1名、雇用隊員4名、民間連携隊員53名の、合わせて58名となります。

引き続き、新たに導入した集落の維持・活性化のため地域組織のサポートを行う「集落支援員」の佐藤隆さんの紹介が行われました。



いせや かつ み
伊勢谷 勝 美 議員

協力隊の定住に向けての取組は

村長 協力隊の要望をよく聞く

質問 二拠点生活を認めているのはなぜか。

村長 村が認めているわけではないが、村外での活動機会が多い為にそのようなみられている。

質問 地域おこし協力隊の業務内容を定期的に確認しなければならぬことになっているが現状はどのようなになっているか。

村長 協力隊は、雇用隊員、委嘱職員、民間連携隊員の3つの形態で採用している。国からの活動報告の提出義務はないが、今年度から活動計画の情報共有をする。

質問 村の協力隊の定住率が低いのはなぜか。

村長 村で自分が望むような仕事が見つけれられない。また雪国の厳しい生活環境に耐えられなかったなどの声を聞いている。

質問 定住率の低さと、今後の支援の考えは。

村長 協力隊の要望をよく聞くことが一番必要と考える。

質問 地域おこし協力隊が地域に根差しているいろいろな問題を解決していこうという趣旨で来たと思うので村民に活動内容が分かるようにすべきだ。

村長 広報では伝えているが、地域おこし協力隊のホームページを充実させて伝えていきたい。



栗駒リゾートの経営をどうみるか

村長 年内には方向性を示したい

質問 ホテルブランドのローシーズン閉鎖についてどうなっているか。

村長 安定経営の協議をしているが、経営を圧迫しているのはホテルブランド。売却や譲渡の選択肢もあるという提案もされている。年内に方向性を示したい。

質問 栗駒リゾートの指定管理料が年間2300万、2500万円と設定されている。赤字補填と見えるが適正か。

村長 施設の管理運用の費用で赤字補填を目的としたものではない。地域活性化起業人が調査して経営状況から試算したものである。村が今後、協議して適正な

金額を精査する必要がある。

質問 栗駒リゾートは経営破綻する可能性があるかと報告されている。報告書の内容は、第三セクターとしての位置づけにするか外部へ売却を検討しているが、現段階でどちらを考えているか。

村長 大規模改修費を除けば破綻には至らないと考える。経営の安定化に向けて進めているが、人手不足施設の老朽化等を考えると経営を圧迫しているホテルを継続していくことは困難と考える。最終的には村からの支援が必要と思うが、年末を目処に一定の方向性を示したい。

さとう
佐藤

ひとし
仁 議員

桧山台跡地の整備計画は

村長 令和8年度工事完了予定



質問 令和9年度完成に向け成瀬ダムの桧山台跡地の整備計画の進捗状況は。また、その観光施設のコンテンツや仕組み、体制、運営方法の方向性は。

村長 周辺整備検討委員会等の意見を集約した整備計画を基に国に要望し、工事が進められ、令和8年度で完了する予定。

具体化に向け桧山台跡地利用計画策定の業務委託の入札公告を掲載した。観光施設は雄物川流域の自治体や民間企業と連携し、地域活性化に向け魅力ある施設を目指している。

現時点では、情報量不足で方向性は定まっていない。運営形態等調査し方針を示したい。

質問 ダム工事関係車両で、大型車の交通量が多かった国道の舗装の傷みが各所で見られる。道路は住民生活



桧山台跡地

やダム観光の安全性・走行性で重要。道路への影響を村はどう捉え、対応等の考えは。

村長 国道の傷みは村も道路管理者である秋田県も認識している。交通量が比較的に落ち着いてくる段階で国道の補修が実施されるものと考え。県と情報共有し考えるべき対応、予算の確保の要望、様々な機会を捉え補修要望を訴えていく。また、村道も工事関係車両による傷みが進んでいるので、併せて国・県へ要望していく。

SNSに関するトラブル等の状況は 教育長 発生トラブルは連携し解決

質問 SNSは児童生徒に身近な存在。そのツールを使った犯罪や被害等のトラブルに巻き込まれるケースも多い。児童生徒のSNSによるトラブル等の状況はどう認識しているのか。

と支援並びに対処方法等共有し、連携しながら解決している。

質問 トラブル事案が後でわかるようであり、相談しやすい体制づくりの工夫が必要では。

教育長 小学校では、2月に1回、中学校では毎月SNSのトラブル等を含め、悩みや相談事を実態把握している。毎年11月の利用実態調査等で令和6年度調査では、小学校から被害の発生はなく、中学校では見知らぬ人からの誹謗中傷、友人・友達等のトラブル、金銭トラブル、迷惑メールの被害があったと回答した生徒がいた。この事案は、関係生徒及び保護者への指導

教育長 学校の相談体制は出来ているが、相談窓口が見えにくいようであれば、工夫していかなければならない。関係機関の活用も含め強化していきたい。



出前講座



たかはし としあき
高橋 登志明 議員

小中一貫校の構想はあるか

教育長 導入について検討していく

質問 令和10年度以降の小学校入学見込みの子供の数はあきらかに少ない現状で、校舎の維持管理の観点からも小中一貫教育の構想はあるか。

教育長 小中学校とも築40年以上経過し修繕箇所も多くなってきた状況。村においては小中連携教育校として運営している。ただ、令和5年度の出生数が極端に少なかったことから小学校においては令和12年度から複式学級編成が見込まれる。今後出生数がこのよ



小学校校舎



中学校校舎

うな傾向であれば児童生徒にとって望ましい教育環境を作り出すため新しい形態の学校の導入について検討していくことも考えられる。

質問 学校のホームページが年度更新されていないが管理は。

教育長 村のサーバーを管理している。理している事業者に委託している。

中学校は外部からプライバシーの保護について指摘があり一般向けについては休止している。

質問 退職者や病欠などで公務が激務となっているのではないかと危惧する。

年齢制限を引き上げて即戦力となり得る人材の中途採用募集はしないのか。

村長 大学卒業程度の募集は今年度から年齢制限を5歳引き上げ34歳までとした。今後実施する高校卒業程度も5歳引き上げて30歳まで受験可能とする予定。

これらは共通試験だが、村単独で考えた場合職員の年齢層が薄い34歳から45歳までを対象としてキャリア採用枠による募集を今年度実施予定。

質問 人員不足は個々の能力・性格に応じた適材適所の配置に影響を及ぼす。配

職員の中途採用募集はしないのか

村長 今年度実施予定



役場

置部署に馴染めず疲弊し更なる欠員の出ないよう配慮が必要では。

村長 今回の事件に際しても人材育成が最も必要だと痛感。職員不足の現状で適材適所になかなか置けない状況なので一定の職員は増やしたい。

すぎ
杉

やま
山

あきら
彰 議員

村の宝・仙北道の振興を



教育長 奥州市側も整備再開の兆し

質問 仙北道は高い歴史的・文化的価値を持ち、観光資源としても期待できる村の宝だ。その魅力を村内外にアピールする方策のアイデアはあるか。また近年、仙北道の振興に消極的な奥州市側に整備・交流の活性化の呼びかけを。

教育長 年3回の仙北道を歩くイベントを紹介し、まると自然館には特設コーナーを設け、仙北道に関連のある古文書の解読を進めている。奥州市も林野庁と調整し整備に向けた借受契約に今年度こぎつけ、胆沢愛宕地区のイベントも再開の模様だ。

質問 私も実際に歩いてみて東成瀬側の整備の良さを実感した。両県を往来できる点にあの道の価値がある。この機会に村から働きかけ、両教育委員会での道の価値を再確認して欲しい。



教育長 2年前に胆沢愛宕地区のセンター長と胆沢古道の会長が来村し、仙北道の保存に向け話合った。今年動きがあったので、もう少し詰めた話をしていきたい。

質問 仙北道は「歴史の道100選」にも選ばれ、もっと知られるべき道だ。パンフも増刷し、インバウンドの視点も持つて臨むべき。

教育長 他課とも調整しつつ対応したい。

国保保険料の負担軽減を

村長 村独自の軽減策は適切でない

質問 国保の保険料が高くて大変との声が多い。保険料水準の県単位化で更に村民への負担は増える。負担軽減策を講じるべきであり、保険料が増える県単位化からは離脱すべきでは。

村長 公的な制度に独自の軽減策を講じるのは適切でない。県の国保統一化は医療費の波のリスクを回避するためでもある。離脱して村独自のシステムを作るには経費がかかる。

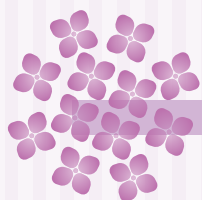
質問 国保は加入者の負担能力が低い構造に加え、国庫負担削減という問題があり、全国市町村長会でも繰り返し指摘し要望しているはず。未成年者への均等割は少子化対策にも逆行するもの

だが、その廃止はわずかの予算で可能で、近隣自治体にも進歩的な励ましを与える。

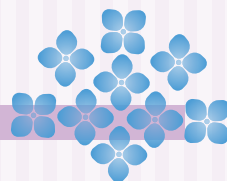
村長 法的制度に村が独自路線を取るという選択肢は私にはない。被用者保険の負担感も増しており、皆の税金を国保会計のみに繰入ればできない。

質問 県単位化は指示ではなくあくまで「助言」。自治体の自主性が尊重されており、十分な基金もある状況でささやかな救済策も打たないとは、国と村民とどちらを向いた政治姿勢か。

村長 私は制度堅持論者。高額医療費で基金がなくなる危険もあり、先は不透明。国保加入者に限らず子どもたちは公平に扱うべき。



常任委員会合同 村内視察



～皆さんの要望箇所を見てきました！～

6月30日、常任委員会合同で、各地区から提出された新規要望事項について、現地を視察し、地区の代表者から要望事項の内容や現状について説明を受けました。

調査には、副村長、担当課長も同行しており、現地調査終了後に講評を行いました。

滝ノ沢地区



小貫山堰水路の一部改修

滝ノ沢地区



村道不動沢線の拡幅改良

平良地区



二階野地区小用水路改修

肴沢地区



前山取水口から林道入口までの
U字溝交換

田子内地区



伊達堰取水口付近までの
管理道路新設

手倉地区



国道 342 号道路側溝蓋設置等改修

よみがえる旧家と県の教育課題



安田県教育長



羽後町を会場に、県南三力町村議会（羽後町・美郷町・東成瀬村）で組織する連絡協議会の研修会が開催された。

今年度は、「盆宿U」の見学と、秋田県教育委員会教育長 安田浩幸氏による講演であった。

盆宿Uは、有志

の方で会社を興

し、町を盛り上

げるために、築

180年の旧

家を改修し、宿

とサウナ、また

地域の方が集う空

間をつくり、外から

来る人も、内に住む人

もつながる場所を目指して、

2025年4月にプレオープンした施設である。

また、講演会では、「秋田の子どもたちへの期待と最近の教育課題について」と題し、近年の少子化問題や教職員不足と働き方改革などについて貴重な講話を聞くことが出来た。

7月2日 県南三力町村 議員研修会

戦没者へ思い馳せ

防災情報センターを会場に、「戦傷病没者追悼式」が執り行われ、当議会議員全員が参列した。

議者を代表して、議長が追悼のこ

とばを述べ、献花を行った。

参加者は、戦災で命を落と

し、現在の私たちの暮

らしの礎を築いた

先人たちにそれ

ぞれの想いを馳

せ、祈りを捧

戦傷病没者 追悼式 5月7日

村消防大会 7月13日

村消防大会が多目的グラウンド駐車場で開催された。議員も出席し、消防団員の練習の成果を間近で観戦した。

貴重な時間を割いての早朝・夕

方の練習の日々がうかがわれ、会

場全体から惜しみない拍手が送ら

れた。

機敏な動作に感服！



功績を讃えて

―旭日双光章受章―

春の叙勲で、前副議長である佐々木謙吉氏が、旭日双光章を受章しました。5月8日には、秋田県庁で伝達式が行われました。

長年にわたる地方自治発展への貢献に深く敬意を表し、お祝い申し上げます。



早期の自立経営をめざして！

東成瀬テックソリューションズ株式会社（通称：なるテック）による、議会向けの成果報告会が開催された。

なるテック 報告会

5月1日

現在、なるテックが取り組んでいる事業についての説明があり、会社の黒字化に向けての意気込みなどを聞いた。地域の活性化に向け、人材育成にも力を入れているとのこと。今後は、いかに早期に協力隊以外の上上げを増やし自立していけるかがカギとなる。

議会全員 協議会

5月15日

不祥事に関する調査について、3月定例会議での公表から一定の調査が進んだことから、現時点で明らかになっている事項などについて報告を受けた。

終了後に、「地域公共交通」及び「モビリティハブ施設」の検討状況について、当局から説明を受けた。新たな交通の仕組みを構築するための協議会発足や、現在計画している複合施設の建設事業についての説明があった。

また、岩井川地区に建設予定の定住促進住宅の進捗状況について、説明を受けた。

不祥事、モビリティハブ、岩井川住宅！



6月定例会議議決事項一覧

専 決 処 分	村税条例の一部を改正する条例
	国保税条例の一部を改正する条例
	令和6年度一般会計補正予算（第10号）
	令和7年度一般会計補正予算（第1号）
	令和7年度国保特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第1号）
	損害賠償の額の決定及び和解について
	繰越明許費繰越計算書について
	長期継続契約を締結することができる契約に関する条例について
	布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について
	令和7年度一般会計補正予算（第2号）
	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
	物品供給売買契約の締結について ※マイクロバス購入
	令和7年度一般会計補正予算（第3号）
	村職員による公有物窃取事件調査特別委員会の設置に関する決議について
	選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書の提出について
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げを求める意見書の提出について
	再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）の意見書の提出について
	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について
	議員の派遣について
	職員による不祥事（公有物窃取）に係る政治責任の継続的履行を求める決議について

令和7年度一般会計補正予算（第2号）の主なもの

歳入	
○国庫支出金	
社会保障・税番号システム整備費助成金増	279万円
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金増	40万円
社会資本整備総合交付金減	▲1786万円
道路メンテナンス事業費補助金減	▲792万円
○県支出金	
農業経営支援協調助成事業費補助金増	174万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金増	2400万円
さわやかなるせ仙人の郷基金繰入金（企業版）増	300万円
○村債	
公共施設等適正管理推進事業債増	520万円

歳出	
○総務費	
生成AⅠ使用料増	74万円
電算機器・ソフトリース料増（タブレット端末導入ほか）	478万円
○農林水産費	
農業経営支援協調助成事業補助金増	260万円
村単農業用施設整備事業増（五里台農業用水路修繕）	700万円
○土木費	
道路新設改良本工事費増	550万円
建設機械購入費減（除雪ドーザ）	▲3300万円
○消防費	
危険空き家解体事業補助金増	200万円
○教育費	
スクールバス借上料減	▲300万円

令和7年度一般会計補正予算（第3号）の主なもの

歳入	
○国庫支出金	
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金増	318万円
歳出	
○総務費	
物価高騰対策支援金事業費増	495万円

請願・陳情

6月定例会議で3件の陳情が提出され、総務教育民生常任委員会に付託。審査の結果、3件を採択すべきものとし、要請に基づき意見書を提出することに決定した。

また、3月議会で審査を継続していた2件の陳情については、1件を不採択、1件を採択とした。

採択とした陳情

○「選択的夫婦別姓制度」の導入を求める意見書
採択に関する陳情書

（陳情者） 連合秋田横手湯沢地域協議会
議長 岩佐 真

○再審法改正（刑事訴訟法の一部改正）の意見書の採択を求める陳情書

（陳情者） 秋田弁護士会
代表 有働 悠一

○ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

（陳情者） 秋田県教職員組合
執行委員長 小林 久美子

○地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情

（陳情者） 連合秋田横手湯沢地域協議会
議長 岩佐 真

不採択とした陳情

○地方自治を無視する国に沖縄との対話を求める意見書の提出に関する陳情

（陳情者） 沖縄に応答する会@あきた
代表 兵藤 知子

傍聴しませんか？



会議はどなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局までお問い合わせ下さい。

次回定例会は9月上旬開会の予定！

厳しくチェック!

村民の課題解決につながる予算か

令和6年度一般会計補正予算
(第10号)

住宅使用料の減額は

質問 減額の要因は。

答弁 定住促進住宅は現在36戸あり、当初予算では1年間全て入居する予定で予算措置したが、退去や入居者の入れ替えなどに伴う家賃収入の減が主な要因。

村営住宅も同様で、去年は3軒で移動があった。

林道の維持管理は

質問 治山林道費が減額となっているが、修繕の必要な林道などは確認をし、必要箇所は補修すべきでは。

答弁 定期的なパトロールを実施しながら、今後も維持管理に努めていきたい。

雪下ろし安全金具助成事業

質問 皆減となっているが。

答弁 活用していただけるように、PRをもっと行い、周知徹底していきたい。

令和7年度一般会計補正予算
(第2号)

観光施設修繕料

質問 プチミニオンの屋根の修繕ということだが、昨年までは生ごみ堆肥化事業で使われていた施設でもある。今後何か活用するための修繕なのか。

答弁 現在、ダム工事関係者が2階に宿泊している。直接的には関係ない部分にはなるが、いずれそのままにしておくと傷みが進むので復旧する必要がある。

利活用については、現時点では計画していない。

危険空き家解体事業

質問 補助金が30万円から50万円へと嵩上げされたが、面積なども勘案した制度の見直しは考えていないのか。

答弁 将来的な話にはなるが、坪単価など色々検討する要素はある。今後解体を加速するために、短期集中的に進めら

れるよう制度設計も見直しながら検討していきたい。

質問 単価が上がったことを知らない方も多いのでは。

答弁 色々な媒体を活用し、PRに努めていきたい。

看板の撤去

質問 ビューポイントの看板の撤去とのことだが、新たに作り直すのか。

答弁 平成の時代に広域で設置した看板があり、合併前の地図など古い情報で、落ちてきていることもあり撤去するもの。新しいものは作らない。

ホームページで生成AI活用

質問 入力のみか、音声検索は可能か。

答弁 対話型のもので、音声ではなく入力したものが検討として表示される。

質問 使用料は他自治体と比べてどうか。

答弁 なるテックの課題改善プロジェクトの一環で取り組んでいるため、通常より安い。

暫時
ざんじ
休憩
きゆうけい

▼暑い、暑い、天気が変わだ。6月に32度にもなった。畑の草刈り、田んぼのあぜにいます。1日に3度も着替え、ハウスでの作業はなおつらい。

▼作業場はエアコンで作業もはかどる。でも我が家の居間は扇風機だ。

▼寝苦しいとは思いう暇もなく寝込んでしまう。

▼集落、地域を守るための共同作業、堰普請、道普請などがある。あっちこっちで朝から見られる。

▼ダム工事終盤。めっきり工事用車輛が少なくなった。駐車場は空きが見える。ところが、滝ノ沢地区のダンプの多い事。

(議員・高橋 健)

夢に向かって羽ばたけ！ なるせっ子

No.18

高校生にインタビュー！



とみた しおん
富田 獅温さん(岩井川)

増田高校3年生
趣味：スポーツすること。
特にバスケ！
音楽を聴くこと。

あなたにとって、東成瀬村といえば？

村自体がほぼ家？みたいな感じで落ち着きます。安心感がすごくあるので、平日なんかは「東成瀬に帰りたい」とよく考えてしまいます。それくらい好きです。

将来、どんな仕事を目指していますか？どんな大人になりたいですか？

将来は行動力のある大人になりたいです。今の自分は、とにかく行動力がなく、だらけてしまいがちなのでメリハリをつけ責任を持って最後までやりきる大人になりたいです。

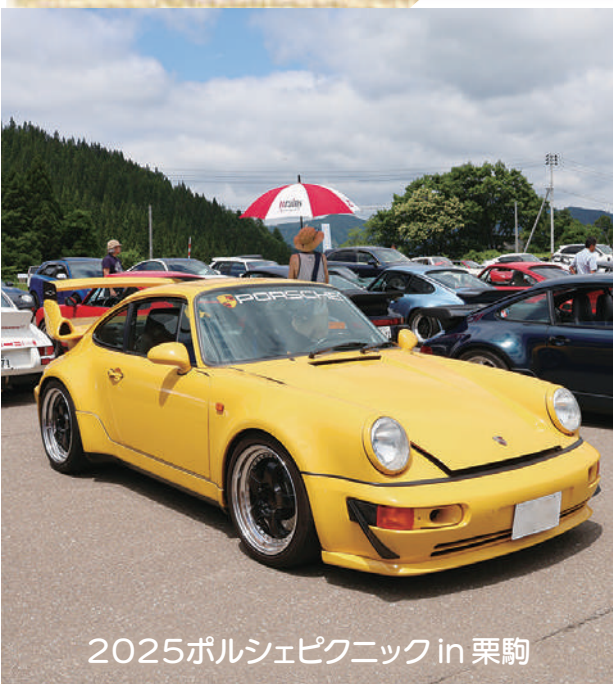
友だち・家族へメッセージを！

家族へ・・・高校生になっても迷惑をかけてしまって本当に申し訳ないです。サポートよろしくお願いします。

友達へ・・・早くみんなで集まりたい!!! 大好きです、みんな!!



今号の
ベスト
shot



2025ポルシェピクニック in 栗駒

岩井川地区
たにふじ つとむ
谷藤 勉さん

縁の下のちから
力持ち



成瀬仙人太鼓や民謡同好会などの指導や演奏、また、音響照明の担当として広い視点でステージをいつも支えています。